

海軍公報 第二千七百二十三號

昭和十一年四月一日(水)
海軍大臣官房

○通牒

官房第一五五〇號

昭和十一年四月一日

海軍次官

各廳長殿

恩給年加算ノ件通牒

昭和十一年内閣告示第二號ニ依ル首題ノ件ハ左記ノ通御取扱相成度

記

- 一、事變地加算
 - (一) 臨時海軍防備隊所屬艦船又ハ滿洲國ノ艦船ニ乗組ミ事變地ニ於テ勤務シタル者
 - (二) 事變地ニ於テ出動部隊ニ關スル勤務ニ服シ海軍大臣ニ於テ功績アリト認メタル者
- 二、擾亂地加算
 - (一) 駐滿海軍部、臨時海軍防備隊(第一號ニ依リ加

- 算セラルル者ヲ除ク)勤務ノ者
- (二) 旅順要港部所屬艦船及第三艦隊ノ艦船ノ乗員ニシテ滿洲國沿海ニ於テ勤務ノ者
- 三、加算ノ始終期

加算	擾亂地	事變地	區分	
			始終期	始 期
二號ノ(二)	昭和三十二年四月一日但シ同日以後滿洲國沿海ニ到リタルトキハ滿洲國沿海ニ入リタル日	昭和三十二年四月一日但シ同日以後哈爾濱ヲ出發シタル者ハ哈爾濱出發ノ日	昭和三十二年四月一日但シ同日以後滿洲國沿海ニ到リタルトキハ滿洲國沿海ニ入リタル日	昭和三十二年四月一日但シ同日以後滿洲國沿海ニ到リタルトキハ滿洲國沿海ニ入リタル日
二號ノ(一)	昭和三十二年四月一日但シ同日以後赴任ノ者ハ滿洲國ニ入リタル日	昭和三十二年四月一日但シ同日以後赴任ノ者ハ滿洲國ニ入リタル日	昭和三十二年四月一日但シ同日以後赴任ノ者ハ滿洲國ニ入リタル日	昭和三十二年四月一日但シ同日以後赴任ノ者ハ滿洲國ニ入リタル日
一號ノ(二)	該當者ニ就キ定メラル	該當者ニ就キ定メラル	該當者ニ就キ定メラル	該當者ニ就キ定メラル
一號ノ(一)	昭和三十二年四月一日但シ同日以後赴任ノ者ハ滿洲國ニ入リタル日	昭和三十二年四月一日但シ同日以後赴任ノ者ハ滿洲國ニ入リタル日	昭和三十二年四月一日但シ同日以後赴任ノ者ハ滿洲國ニ入リタル日	昭和三十二年四月一日但シ同日以後赴任ノ者ハ滿洲國ニ入リタル日

(參照)
○内閣告示第二號
公務員ノ在職年ニ付恩給法第三十二條第二項ノ規定ニ依リ加算ヲ爲スベキ戰爭ニ準ズベキ事變ノ期間、地域

及戰務ノ範圍竝ニ第三十三條第一項ノ規定ニ依リ加算ヲ爲スベキ擾亂ノ地域及期間左ノ趣勅裁ヲ經タリ

昭和十一年三月十九日

內閣總理大臣 廣 田 弘 毅

從軍加算及擾亂地勤務加算ニ關スル件

茲ニ勅裁ヲ經テ昭和八年十二月七日內閣告示第五號ヲ以テ告示シタル昭和六年九月十八日以後滿洲、東內蒙古及熱河竝ニ其ノ接壤地帯ニ在リテ戰闘力構成ニ參加從軍シタル公務員ニ對シ恩給法第三十二條第一項第一號ヲ準用スル同條第二項ノ規定ニ依リテ爲ス加算ノ地域ハ昭和九年四月一日以後昭和十年十一月三十日迄ハ之ヲ環璣、龍鎮、通北、海倫、望奎、綏化、呼蘭、阿城、雙城(哈爾濱新京間鐵道沿線以西ヲ除ク)、榆樹、舒蘭、永吉、磐石、伊通(滿鐵本線沿線以西ヲ除ク)西安、東豐、清原、興京、桓仁、寬甸ノ各縣ヲ連スル地域以東ノ滿洲トス昭和十年十二月以後ニ付テハ別ニ之ヲ定ム

ノ規定ニ依ル加算ヲ爲ス

昭和九年四月一日以後滿洲、其ノ沿海、東內蒙古及熱河(此ノ地域中前二項ニ依リテ恩給法第三十二條第二項ノ規定ニ依ル加算ヲ爲サル部分ニ付テハ右加算ヲ爲サル期間其ノ部分ヲ除ク)ニ在リテ危險ヲ顧ミズ其ノ職務ヲ以テ勤務シタル公務員ニ對シ恩給法第三十三條第一項ニ規定スル外國擾亂地勤務ノ加算ヲ爲ス

官房第一五五〇號ノ二

昭和十一年四月一日

海軍 次 官

各 應 長 殿

恩給年加算ニ關スル件通牒

昭和八年十二月十五日官房第五四六三號(二)加算ノ地域竝ニ始終期ノ表中事變加算事變地終期ノ欄中「昭和八年十二月以後トシ追テ定メラル」ヲ「昭和九年三月三十一日」ニ改メ同表中(四)內國ノ項事變地外終期ノ欄中「同 八、五、三一」ノ次及昭和八年官房第五四六三號ノ二第三號中「昭和八年五月三十一日」ノ下ニ「(但シニ關スル任務ヲ以テ事變地ニ往復)」ヲ加フ

恩第一四二號

昭和十一年四月一日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

恩給年加算ニ關スル件通牒

昭和九年六月二十三日付恩第三三八號通牒首題ノ件ハ本年官房第一五五〇號通牒ニ依リ自然消滅ノコトト御承知相成度爲念
(備考)

昭和九年恩第三三八號ハ昭和九年四月一日以後滿洲國在勤者ニ對シ何分ノ決定アル迄外國鎮戍トシテ加算ヲ爲ス件ナリ

恩第一四三號

昭和十一年四月一日

海軍省人事局

關係各廳御中

履歷書記註方ノ件通知

本年官房第一五五〇號ヲ以テ恩給年加算ノ件通牒相成候間該當者ノ履歷書丙又ハ履歷表記註方左記ノ通處理成度

記

- 一、艦船乗組ノ者ニ付テハ恩給年叙勳年加算調査(追テ配付ノ公報附録ニ依リ追録事項記載ヲ了シタル上)ニ據リ記入ノコト
- 二、駐滿海軍部及臨時海軍防備隊(艦船乗組ノ者ヲ除ク)勤務ノ者ニ付テハ官房號通牒始終期區分ニ依リ直チニ記入ノコト
- 三、海軍大臣ニ於テ功績アリト認メラルル者ニ付テハ海軍省人事局長ヨリ所轄長宛通知ヲ俟テ記入ノコト
- 四、右各號ニ依リ記入ヲ爲シタルトキハ履歷書丙又ハ履歷表ノ正本保管應ニ通報ノコト
- 五、現ニ當該所轄ニ勤務シ在ラザル者ニ付テハ現所轄ヘモ通知ノコト

恩第一四四號

昭和十一年四月一日

海軍省人事局

關係各廳御中

滿洲國出張者ノ件照會

恩給年加算ニ關スル調査上必要ニ付昭和九年四月一日

2005

<p>ヨリ同十年十一月三十日ニ至ル間ニ於テ滿洲國(熱河ノ接壤地帯ヲ含ム)ニ出張シ滞在期間六十日以上ノ者ニ付左記(一)ノ名簿ニ(二)ノ行動日誌ヲ添付シ來ル四月十五日迄ニ送付相成度</p> <p>追テ昭和九年九月十八日付恩第五五六號當局照會ニ對シ既ニ送付済ノ者ニ付テハ重ネテ御送付ニ及バザルニ付申添候</p> <p>記</p>		<p>(一)</p>		
		<p>滿洲國出張者名簿</p>	<p>所轉名</p>	
<p>職官氏名</p>	<p>主要任務</p>	<p>滿洲國入國年月日</p>	<p>同離國年月日</p>	<p>記事</p>
<p>(備考) 半葉算紙ニ一人毎ニ別紙トス</p>				
<p>○辭令</p>		<p>○昭和十一年四月一日</p>		
		<p>任海軍書記</p>	<p>給月俸六拾圓</p>	<p>石川 義澄</p>
		<p>任海軍書記</p>	<p>給九級俸</p>	<p>西村 益枝</p>
		<p>任海軍助教</p>	<p>給六級俸</p>	<p>海軍技手 上村 信夫</p>
		<p>行動日誌</p>		
		<p>年月日</p>	<p>地</p>	<p>職官氏名</p>
		<p>發</p>	<p>着</p>	<p>滞在</p>
		<p>作業ニ關スル記事</p>		

2006

任海軍助教 給七級俸	鈴木 光雄	同	稻垣 生起
任海軍技手 給月俸七拾圓	陸軍工兵少尉正八位 黒川 健一	軍艦比叡在役艦タル間同艦長在職中特別俸ヲ賜フ 海軍書記	石川 義澄
(各通)	奥田 貞樹 田村 健太郎 葛野 定雄 岡田 進 木村 久吾	横須賀海軍經理部附ヲ命ス 同	西村 益枝
任海軍技手 給七級俸	佐久間述之助 正木 横太	佐世保海軍經理部附ヲ命ス 同	上村 信夫
(各通)	陸軍三等計手	(各通)	鈴木 光雄
任海軍技手 給九級俸	渡井 猛男	横須賀海軍航空隊附ヲ命ス 同	黒川 健一
任海軍技手 給十級俸	海軍録事 鈴木 喜重	水路部附ヲ命ス 同	岡田 進
依願免本官(海軍省)	海軍大佐 大川内 傳七	佐世保海軍工廠附ヲ命ス 同	奥田 貞樹
特別俸ヲ賜フ		海軍航空隊附ヲ命ス 同	田村 健太郎
		舞鶴要港部附ヲ命ス 同	葛野 定雄
		佐世保海軍工廠附ヲ命ス 同	木村 久吾
		木更津海軍航空隊附ヲ命ス 同	佐久間述之助
			正木 横太

海軍公報 第二千七百二十三號 昭和十一年四月一日

三〇九

2006

2007

鹿屋海軍航空隊附ヲ命ス

同 渡井 猛男

横須賀海軍航空隊附ヲ命ス

同 落合 新作

海軍艦政本部造兵監督助手

海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手ヲ命ス

水路部附海軍技手 平田 柳作

(各通)

同 同 淺井 銀治

淀乗組ヲ命ス

同 同 佐野 義久

笹森 賢藏

海軍航空本部ニ於ケル研究調査囑託ヲ解キ海軍航空

廠ニ於ケル研究調査業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇ト

ス 海軍省軍需局ニ於ケル囑託

九百壹圓 梶原 好平

海軍省建築局ニ於ケル囑託

千百參拾圓 船岡 茂

同

千參百圓 益田 篤士

(各通)

海軍技術研究所ニ於ケル囑託

千四百七拾圓 兼子 宙

海軍航空本部ニ於ケル囑託

千參百圓 笹森 賢藏

水路部ニ於ケル囑託

千參百圓 藤井 義之

佐世保海軍病院ニ於ケル囑託

千參百圓 的野 良四郎

海軍燃料廠ニ於ケル囑託

貳千五百五拾圓 岡崎 平一

同

千四百七拾圓 藤本 春季

横須賀海軍工廠ニ於ケル囑託

千百參拾圓 福井 經彦

同

千六拾參圓 石坂 定次

吳海軍工廠ニ於ケル囑託

千八拾圓 宮原 治之

同

千八拾圓 藤城 藤四郎

同

千八拾圓

西郷 太郎

同

千八拾圓

梶田 邦夫

海軍兵學校ニ於ケル囑託

千八百貳拾圓

三谷 復太郎

第二艦隊ニ於ケル囑託

千參百圓

猪瀬 精

自今報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給ス(以上謂海軍省)

海軍省軍務局事務囑託 小泉 幸次郎

自今報酬月額六十五圓ヲ給ス(謂海軍省軍務局)

海軍主計大尉 神上 園 治 平

沖島艦裝事務ニ要スル經費支拂ノタメ臨時資金前渡
官吏ヲ命ス(謂海軍省經理局支出官)

○艦船所在

△印△ハ△ホ△フ
指定ヲ要セズ

○四月一日午前十時調

【横須賀】

對馬△、金剛△、陸奥△、五十鈴、鳥海、高雄、摩耶、比叡、大鯨、神威△、愛宕、駒橋、嚴島

△殿島

沖風、矢風、峯風、△電、雷、△天霧、

△朝霧、△潮、△隼、△曙

△伊五、△伊四、△伊五三、△伊五六

富士△、尻矢、膠州

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】△漣、曉

呂五四、呂五五、呂五六、△呂五八、

呂五七、呂五九、△伊二三、△伊二四

△掃六、△掃五、△掃三、△掃一、△掃四、△掃二

【石川島】

△狹霧

(鴨)

【横濱】(集)

【浦賀】△夕暮、有明

【館山】(時雨)、(五月雨)、(山風)

【清水】△澤風

△木會

△沙風、島風、夕風、灘風

【大湊】△神風、沼風

△大泊

【函館】△波風、野風

【吳】△矢矧、韓崎、日向△、淺間、最上、伊勢、

天龍、大井、勝力、淀、龍旗

夕顔、△藤、薄、葛

呂五一△、呂五三△、△呂二八、△呂二六、

△呂二七、△呂六八、△呂六三、△呂六四、

△呂三三、△伊二一、△伊二二、△伊六、△伊七一

△掃九、△石廊、△辨津、△朝日、△室戸、△襟裳、△野島

△蒼龍、(伊七)

△加古

敷波、白雲、△白雲

(村雨)、(鶴)

【神戶】△叢雲

△伊三、△伊一、△伊二

(伊七二)、(伊七三)、(呂三四)

【相生】△薄雲

(沖島)

【玉】△吹雪

(掃一八)

【因島】△朝風△、夕風△

(阿多々島)

△長鯨

【江田内】△平戸

【柏】△白鷹

△掃一六、△掃一四、△掃一五、△掃一三、△掃一七

【舞鶴】△吾妻△、△多摩△

△夕霧△、△初雪△、△響

△伊五二、△伊五一

△千鳥、△初雁、△真鶴、△友鶴

海軍公報 第二千七百二十三號 昭和十一年四月一日

海軍公報

第二千七百二十四號


昭和十一年四月二日(木)
海軍大臣官房

○通牒

官房第一四二二號ノ二

昭和十一年三月三十一日

海軍省副官


各鎮守府 各要港部 參謀長
駐海軍部 駐海軍部 駐海軍部
大阪海軍監督長 殿

海軍記念日部外講演ニ關スル件申進

本年五月二十七日海軍記念日ニ於ケル部外講演ニ關シテハ別紙ノ通海軍次官ヨリ内務、文部及拓務次官宛照會相成候ニ付テハ左記ニヨリ講演官ヲ派遣セシメラルル様致度

記

一、講演官ノ派遣ハ別表區分表ニ依ルヲ原則トスルモ適當ナル講演官ヲ派遣スルタメ要スレバ派遣區分ニ依ルコトナク各講演官派遣應ニ於テ彼我融通シ

又ハ各地所在海軍監督官、艦隊又ハ艦船ト協議ノ上講演官ヲ派遣スルコト

二、講演官ニハ成ルベク適任者ヲ選定スベキハ勿論ナルモ、尙出身地又ハ出身校ヲモ考慮スルコト

三、實戰談ヲ希望スル向アリタル場合ニハ講演地附近ノ適當ナル離現役軍人ニ講演ヲ依頼スルヲ可トスルコトアルベキコト、又各地有終會支部及海軍軍事普及事務囑託タル在郷士官ト連絡シ之ヲ利用スルコト

四、講演ノ題目及要領ハ主催者ノ希望、聽講者ノ種類講演官ノ經歷等ニ依リ講演官ニ於テ適宜選定スルコト

但シ中等學校以上ニアリテハ配屬陸軍將校ノ講演ト重複セザル如ク豫メ協議スルコト

五、講演參考資料ハ追テ送附スベキモ時局ニ關スル講演ノ要望多カルベキニ付軍事普及部ヨリ頒布シツツアル時局關係冊子ヲ利用スルコト

六、講演官ニ支給スベキ旅費ハ旅順要港部及駐滿海軍

部ヨリ派遣セララル者ノ外昭和七年官房第九九八

號ニ依ルコト

尙共ノ旅行日數ハ實際所要最小限度ヲ以テスル等

ノ方法ニ依リ成ルベク多數ノ講演官ヲ派遣シテ部

外ヨリノ希望ニ應ズルコト

講演官派遣旅費(旅費ノ費目ニ付テハ海軍省經理局ヨ

リ別ニ通知ス)

横須賀鎮守府 一、三〇〇圓

吳鎮守府 一、一〇〇圓

佐世保鎮守府 一、三〇〇圓

大湊要港部 三五〇圓

舞鶴要港部 三〇〇圓

鎮海要港部 三〇〇圓

馬公要港部 二五〇圓

旅順要港部 二〇〇圓

駐滿海軍部 二〇〇圓

大阪海軍監督官 一〇〇圓

海軍省 六〇〇圓

計 六、〇〇〇圓

官房第一四二二號

昭和十一年三月二十七日

海軍次官

内務次官

文部次官

拓務次官

海軍記念日講演ニ關スル件照會

來五月二十七日ハ海軍記念日ニ相當候處本記念日ハ既ニ逐年全國民的ノモノトシテ迎ヘラルルニ至リ各地學校、團體等ニ於テ種々記念行事舉行ノ趣承知致居リ候ニ付テハ海軍ヨリモ別表ニヨリ講演官ヲ派遣可致候條左記事項關係各部ニ通牒方御配慮ヲ得度

記

- 一、講演官ノ派遣ニ要スル費用ハ海軍ニ於テ負擔シ共ノ派遣區分ヲ別表ノ如ク定ムルモ人員ノ都合ニヨリ若干ノ變更アルベシ
- 二、聽講者ハ成ルベク中等學校生徒以上程度、青年訓練所員、青年團員、一般有志等ヲ主體トスル様希望ス
- 三、講演日ハ五月二十七日及二十八日ノ兩日トスルモ情況ニ依リ二十六、九兩日ニテモ差支ナキニ付各

府縣廳ニ於テ適宜場所及日時ヲ統制セラレ一括シテ四月二十五日迄ニ別紙様式ニ依リ(二通)講演官派遣應ニ送付セラレ度

四、人員ノ都合上重要ノ全部ニ應ジ難キコトアルベキハ豫メ諒承ヲ得度尙講演官ヲ派遣シ得ザル各學校ニ於テハ學校長其ノ他ニ於テ記念日ニ相應スル訓話ヲ爲サルコトハ最モ希望スル所ニ有之候

(別表)

講演官派遣區分表

講演官派遣應	講演官派遣地
海軍省	東京府、其ノ他一般
横須賀鎮守府	栃木縣、群馬縣、茨城縣、埼玉縣、千葉縣、山梨縣、神奈川縣、靜岡縣、長野縣、岩手縣、秋田縣、山形縣、宮城縣、新潟縣、福島縣
吳鎮守府	愛知縣、岐阜縣、三重縣、滋賀縣、奈良縣、和歌山縣、兵庫縣、岡山縣、廣島縣、山口縣、島根縣
佐世保鎮守府	福岡縣、大分縣、佐賀縣、長崎縣、熊本縣、宮崎縣、鹿兒島縣、德島縣、香川縣、愛媛縣、高知縣、沖繩縣
大湊要港部	青森縣、北海道、樺太

舞鶴要港部	京都府、鳥取縣、福井縣、石川縣、富山縣
鎮海要港部	朝鮮
馬公要港部	臺灣
旅順要港部	關東州
駐滿海軍部	滿洲國
大阪海軍監督官	大阪府

(別紙)様式
海軍講演官派遣申込書

日	時刻	場所	希望スル題目	記事
至 自前九時	至 十時	町青年團	職員生活	昭和一〇、五
至 自後七時	至 九時	市公會堂	市民有志	一、三〇〇

海軍公報 第二千七百二十四號 昭和十一年四月二日

○ 辭 令

軍令部編纂事務囑託

七拾五圓

宮坂 利喜造

(通各)

六拾圓

同

若 月

健

自今報酬月額(各頭書ノ通)ヲ給ス(軍令部)

○ 款 雜

○司令驅逐艦變更
第九驅逐隊司令ハ昨日司令驅逐艦ヲ夕暮ヨリ有明ニ
變更セリ

○艦船所在

指定ヲ以テ

○四月二日午前十時調

【横須賀】

對馬、金剛、陸奥、五十鈴、島海、高雄、摩耶、比叡、大鯨、神威、愛宕、駒橋、

▷駿島

沖風、矢風、峯風、區電、雷、區天霧、

區潮、隴、曙

區伊五、伊四、伊五三、伊五六

富士、尻矢、膠州

(鈴谷)、(劍崎)

【長浦】

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

呂五七、呂五九、區伊二三、伊二四

區掃六、掃五、掃三、掃一、掃四、掃二

【石川島】

狹霧

【横濱】

(準)

【浦賀】

有明、夕暮

【館山】

(時雨)、(五月雨)、(山風)

【神社】

澤風、區漣、曉

【大湊】

神風、沼風

【函館】

波風、野風

【吳】

矢矧、韓崎、日向、淺間、最上、伊勢、

天龍、大井、勝力、▷長鯨、▷白鷲、淀、

龍巖

夕顔、區藤、薄、葛

呂五一、呂五三、區呂二八、呂二六、

呂二七、區呂六八、呂六三、呂六四、

呂三三、區伊二一、伊二二、伊六、伊七一

區掃一六、掃一四、掃一五、掃一三、掃一七

掃九

石廊、攝津、朝日、室戸、襟裳

(蒼龍)、(伊七)

加古

敷波、白雲、區白雪

(村雨)、(鶺鴒)

【神戸】

區伊三、伊一、伊二

(伊七二)、(伊七三)、(呂三四)

【相生】

薄雲

(沖島)

【玉】

吹雪

(掃一八)

區朝風、夕風

區朝風、夕風

區朝風、夕風

區朝風、夕風

區朝風、夕風

區朝風、夕風

區朝風、夕風

區朝風、夕風

區朝風、夕風

區朝風、夕風

區朝風、夕風

區朝風、夕風

區朝風、夕風

區朝風、夕風

區朝風、夕風

區朝風、夕風

區朝風、夕風

區朝風、夕風

<p>【佐世保】 (春雨)、(鴻) 隴田、名取、由良、赤城、霧島、常磐、八重山、北上 梨、竹、樅、桃、柳、檜、檜、菱、菱、蓼、蓬、 文月、三月月、望月、子日、初春、 呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、 呂六一、呂六二、呂六六、呂六七、 呂六五、伊六一、伊六二、伊六四、 伊五九 敷島、早鞆、佐多、知床 (白露)</p>	<p>【寺島水道】 妙高、那智、羽黒、青葉、衣笠、古鷹、 那珂、鬼怒、加賀 綾波、浦波、東雲、磯波、疾風、追風、 伊六八、伊六九、伊七〇、伊六六、 伊六五、伊六七 鳴戸</p>	<p>【長崎】 足柄、三隈 若葉、初霜、夕月 神通、阿武隈、迅鯨、鳳翔 陸月、卯月、彌生、松風、朝風、旗風、春風 伊五五、伊五四、伊五七、伊五八、 伊六〇、伊六三 鶴見、間宮</p>	<p>【馬公】 能登呂</p>						
<p>【安平】 羽風、帆風、秋風、太刀風、夕張 若竹、吳竹、早苗、芙蓉、朝顔、刈萱</p>	<p>【旅順】 葵、菊、萩、春日</p>	<p>【上海】 安宅、鳥羽、浦風、梅、栗、蓮</p>	<p>【南京】 比良、堅田、勢多、熱海、保津、二見、嵯峨、隱戸</p>	<p>【漢口】 勢多、熱海、保津、二見、嵯峨、隱戸</p>	<p>【宜昌】 勢多、熱海、保津、二見、嵯峨、隱戸</p>	<p>【重慶】 勢多、熱海、保津、二見、嵯峨、隱戸</p>	<p>【香港】 勢多、熱海、保津、二見、嵯峨、隱戸</p>	<p>【羅府】 勢多、熱海、保津、二見、嵯峨、隱戸</p>	<p>【航海中】 球磨 (三月三十日青島發—枋寮) 出雲 (三月三十一日上海發—枋寮) 八雲、磐手 (一日油谷灣發—仁川) 木曾、沙風、島風、夕風、灘風 (二日清水發—橫須賀) 朝霧 (二日橫須賀發—浦賀) 野島 (二日吳發—佐世保)</p>

(部内限四頁、同號外十頁)

海軍公報 第二千七百二十五號

海軍大臣官房

昭和十一年四月四日(土)

○通牒

經物第四九六號

昭和十一年四月二日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

海軍造船造兵材料物品品名類別表ノ制定

ニ伴フ整理及證明ニ關スル件通牒

昭和十一年十一月五日官房第四六六五號ヲ以テ制定相成候造船造兵材料物品品名類別ノ實施ニ伴フ整理及證明ハ左記ニ依ルコトトシ尙各部ノ事情ニ應シ更訂ノ經過ヲ明ナラシムル様可然處理セシメラレ度

記

一、品名、稱呼更訂ノ整理

イ、新舊品名又ハ稱呼カ各單一ナル場合

更訂票ハ之ヲ省略スルコトヲ得

原簿口座欄ニハ舊品名又ハ稱呼ヲ朱書抹消シタ

ル上新品名又ハ稱呼ヲ掲記シ「昭和十年官房第四六六五號ニ依リ品名稱呼更訂」ト記註スルコト

ロ、一品名ヨリ數品名ニ分離更訂スベキ場合又ハ數品名ヲ一品名ニ集合更訂スベキ場合

更訂票ヲ作製ス

原簿口座欄ニハ「何冊何頁何ニ更訂轉記」及「何冊何頁何ヨリ更訂轉記」ト掲記シ尙各「昭和十年官房第四六六五號ニ依リ品名稱呼更訂」ト記註スルコト

二、出納計算證明

イ、工廠資金所屬材料物品出納計算書摘要欄品名ハ

大類別品名ニ依ルコト

ロ、前號以外ノ昭和十一年度通常物品出納計算書ニハ別ニ新舊品名稱呼對照表ヲ添付提出シ備考欄ノ更訂記事ハ分離又ハ集合更訂セルモノ以外ハ省略スルコトヲ得ルコト

○ 辭令

海軍省事務囑託ヲ解ク

海軍大佐 大宅 山耿

宮崎 裕之助

吳海軍工廠ニ於ケル囑託ノ報酬トシテ金六百圓ヲ贈
與ス(以上^{三三二}海軍省)

海軍大佐 大西 瀧治郎

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

海軍航空豫備學生採用試験委員ヲ命ス(同)

海軍中佐 高木 惣吉

第一課勤務ヲ命ス(海軍省軍務局)

成田 勘一

恩給事務囑託ヲ解ク(海軍省人事局)

海軍一等主計兵曹 成田 勘一

海軍省人事局ニ於ケル事變關係事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額五拾圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待

遇セラル(同)

○ 雜款

○ 着任、退廳

新任^{海軍省}海軍法務官 湖見 茂樹 三月三十一日着任
前任^{法務局長} 同 山田 三郎 同日退廳

○ 移轉

海軍省建築局長 海軍技師 吉田 直
日黒區綠ヶ丘二三三四(電話荏原 五六二四番)

○ 服役

左記ノ者一昨二日海軍武官服役令第八條ノ規定ニ依ル
現役ニ服セシメラル

記

海軍軍醫中尉 岡村 武夫
同 田村 勉
同 鳴田 宗之
同 原田 康夫
同 鎌田 常郎
海軍軍醫少尉 大成正元

○艦船所在

指定ヲ要セス

○四月四日午前十時調

【横須賀】

對馬、金剛、陸奥、五十鈴、鳥海、高雄、摩耶、比叡、大鯨、神威、愛宕、駒橋、

嚴島、木曾

沖風、矢風、峯風、雷、天霧、潮、

隴、曙

伊五、伊四、伊五三、伊五六

富士、尻矢、膠州

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】

沙風、島風、夕風、漕風、漕漕、曉、

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

呂五七、呂五九、伊二三、伊二四、

【石川島】

狹霧、

(鴨)

【横濱】

(集) 浦賀、有明、夕暮、朝霧、

(時雨)、(五月雨)、(山風)

【館山】

澤風、

【神社】

洲崎、沼風、

【大湊】

波風、野風、

【函館】

大泊

【吳】

矢矧、韓崎、日向、淺間、最上、伊勢、天龍、大井、勝力、長鯨、白鷺、淀、

龍驤、夕顔、藤、薄、葛

呂五一、呂五三、呂二八、呂二六、

呂二七、呂六八、呂六三、呂六四、

呂三三、伊二一、伊二二、伊六、伊七一、

伊五一

掃一六、掃一四、掃一五、掃一三、掃一七

掃九

石廊、攝津、朝日、室戸、襟裳

(蒼龍)、(伊七)

加古

敷波、白雲、白雲

(村雨)、(鵜)

叢雲

伊三、伊一、伊二

(伊七三)、(伊七三)、(呂三四)

(薄雲)

(沖島)

吹雪

(掃一八)

因島、朝風、夕風

江田内、平戸

舞鶴、吾妻、多摩

夕霧、初雪、櫻

伊五二

區千鳥、初雁、真鶴、友鶴

(春雨)、(鴻)

【佐世保】

龍田、名取、山良、赤城、霧島、常磐

八重山、北

梨、竹、樵、桃、柳、櫻、梅、菖、蓮

區菊月、三日月、望月、子日、初春、區阜月、文月、長月、水無月、如月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六六、呂六七、呂六五、區伊六一、伊六二、伊六四

敷島、早瀬、佐多、野島

(白露)

【寺島水道】

區妙高、那智、羽黑、青葉、衣笠、古鷹

區那珂、區鬼怒、區加賀

區綾波、浦波、區東雲、磯波、區疾風、追風

區伊六八、伊六九、伊七〇、區伊六六、伊六五、伊六七

鳴戸

【長崎】

足柄、三隈

區若葉、初霜、夕月

【有明灣】

區長門、扶桑、區榛名、山城、區川内、長良

神通、區阿武隈、區迅鯨、區風翔

區睦月、卯月、彌生、區松風、朝風、旗風、春風

區伊五五、伊五四、區伊五七、伊五八

區伊六〇、伊五九、伊六三

鶴見、間宮

區公羽風、帆風、秋風、太刀風

區若竹、吳竹、早苗、區芙蓉、朝顔、刈萱

區葵、菊、萩

【旅順】

區葵、菊、萩

【上海】

區葵、菊、萩

【南京】

區葵、菊、萩

【漢口】

區葵、菊、萩

【長沙】

區葵、菊、萩

【宜昌】

區葵、菊、萩

【重慶】

區葵、菊、萩

【廣東】

區葵、菊、萩

【廣西】

區葵、菊、萩

【航海中】

春日 (二日大連發—上海)

運 (二日上海發—九江)

區榆、柿、葦 (二日巖原發—濟州島)

區電 (二日橫須賀發—寺島水道)

能登島 (三日馬公發—佐世保)

梅 (三日上海發—漢口)

區安宅 (四日上海發—南京)

知床 (四日吳發—橫須賀)

(部内限四頁)

海軍公報

第二千七百二十六號

海軍大臣官房

昭和十一年四月六日(月)

○令達

官房第一五二一號

昭和二年官房第一三七二號ハ之ヲ廢止ス

昭和十一年三月三十一日

海軍大臣



(參照) 昭和二年官房第一三七二號ハ南支那沿岸揚子江流域方面ニ於テ糧食品直接購買ヲ爲スノ件ナリ (會計法規中卷一七六ノ一ノ二頁)

○辭令

海軍經理學校ニ於ケル英語學教授囑託

大東直太郎

自今報酬年額千百參拾圓ヲ贈與ス(請海軍省)

○雜款

○旗艦變更

佐世保防備戰隊司令官ハ左ノ通一時旗艦ヲ變更ス

四月六日	佐世保防備隊ヨリ八重山へ
同日	八重山ヨリ常磐へ
同日	常磐ヨリ佐世保防備隊へ

○伊號第五十一潜水艦(行動豫定)

呂號第三十三潜水艦(行動豫定)

地名	着	發
吳	四月八日	四月六日
神戶	四月八日	四月六日
吳	四月八日	四月六日

○特務艦佐多行動豫定

地名	着	發
佐世保	五月五日	四月十一日
羅府	五月五日	五月九日
ホノルル	六月十四日	五月二十三日
佐世保	六月十四日	六月十三日

○郵便物發送先

伊號第五十一潜水艦宛

海軍公報 第二千七百二十六號 昭和十一年四月六日

三二六

四月十日 日迄ニ到達見込ノモノハ、神 戸
其ノ後ハ 吳

○電話架設
海軍省教育局第一課長 海軍大佐 高木武雄宅（目黒區
柿ノ木坂七三六）
荏原 五六二二番

退役海軍主計中佐從五位勳四等宮田康平本月一日
卒去、一昨四日東京市杉並區東荻町三〇自宅ニ於
テ佛式ニ依リ葬儀執行セリ

○ 艦船所在

指△印△ハカガフ
指定ク要セズ

○ 四月六日午前十時調

【横須賀】

對馬△、金剛△、陸奥△、五十鈴、島海、高雄、
摩耶、比叡、大鯨、神威△、愛宕、駒橋、

▷ 本會

沖風、矢風、峯風、雷、△天霧、△潮、

隼、澤風

△伊五、伊四、伊五六

富士△、尻矢、膠州、洲崎

(鈴谷)、(劍崎)

【長浦】

△沙風、島風、夕風、灘風、△漣、曉

呂五四、呂五五、呂五六、△呂五八、
呂五七、呂五九

【石川島】

狹霧△

【横濱】

曙

【浦賀】

△有明、夕暮、朝霧△

(時雨)、(五月雨)、(山風)

【大湊】

△神風、沼風

【函館】

波風、野風

【奥尻】

大泊

【吳】

矢矧、韓崎、日向△、淺間、▷最上、伊勢、
天龍、大井、勝力、▷白鷹、淀、龍驤

夕顔、△藤、薄、葛

呂五一△、呂五三△、呂三三、△伊二一、
伊二二

△掃一六、掃一四、掃一五、掃一三、掃一七

掃九
石廊、攝津、朝日

(蒼龍)、(伊七)

加古△

白雲、△白雪

(村雨)、(鶴)

【神戶】

叢雲

△伊三、伊一、伊二
(伊七二)、(伊七三)、(呂三四)

【相生】

△薄雲

(沖島)

【玉】

吹雪

(掃一八)

【因島】

△朝風△、夕風△

【江田内】

平戸

吾妻△、多摩△

夕霧△、初雪△、響

【舞鶴】

伊五二
△千鳥、初雁、真鶴、友鶴
(春雨)、(鴻)

龍田、名取△、由良、赤城△、霧島、常磐

<p>【南京】▷安宅、比良</p> <p>【上海】▷浦風、栗</p> <p>【旅順】▷鳥羽、春日</p> <p>【麗水】▷榆、柿、草</p> <p>【馬公】▷出雲、帆風、秋風、太刀風</p> <p>【枋寮】▷若竹、吳竹、早苗、芙蓉、朝顔、刈萱</p> <p>【鹿兒島灣】▷朝風</p> <p>【中既浦沖】▷鶴見</p> <p>【長崎】▷足柄、三隈、若葉、初霜、夕月</p>	<p>【寺島水道】▷妙高、那智、羽黒、青葉、衣笠、古鷹</p> <p>▷那珂、▷鬼怒、▷加賀</p> <p>▷電、▷綾波、浦波、▷東雲、磯波、▷疾風、追風</p> <p>▷伊六八、▷伊六九、▷伊七〇、▷伊六五、▷伊六六、▷伊六七</p> <p>▷間宮</p>	<p>八重山、▷北上</p> <p>▷梨、竹、樵、桃、柳、櫻、檜、菱、葦、蓬、</p> <p>▷菊月、三月月、望月、子日、初春、▷阜月、</p> <p>▷文月、長月、▷水無月、如月</p> <p>▷呂三〇、▷呂三一、▷呂三二、▷呂六〇、</p> <p>▷呂六一、▷呂六二、▷呂六六、▷呂六七、</p> <p>▷呂六五、▷伊六一、▷伊六二、▷伊六四</p> <p>▷敷島、▷早鞆、佐多、室戸</p> <p>(白露)</p>	<p>【九江】▷道</p> <p>【漢口】▷勢多</p> <p>【長沙】▷熱海</p> <p>【重慶】▷保津</p> <p>【廣東】▷二見</p> <p>【廣府】▷嵯峨</p> <p>【羅府】▷隱戸</p> <p>【航海中】</p> <p>▷知床 (四日吳發—横須賀)</p> <p>▷八雲、磐手 (五日仁川發—大連)</p> <p>▷長門、扶桑、▷榛名、山城、▷川内、長良、神通、</p> <p>▷阿武隈、▷迅鯨、▷鳳翔、▷陸月、卯月、彌生、</p> <p>▷松風、旗風、春風、▷伊五五、▷伊五三、▷伊五四、</p> <p>▷伊五七、▷伊五八、▷伊六〇、▷伊五九、▷伊六三 (五</p> <p>日石明灣發—寺島水道)</p> <p>▷野島 (五日佐世保發—龍塘浦)</p> <p>▷能登呂 (六日石垣島發—那霸)</p> <p>▷壱田 (六日九江發—上海)</p> <p>▷長鯨、▷呂二八、▷呂二六、▷呂二七、▷呂六八、</p> <p>▷呂六三、▷呂六四、▷伊五一、▷伊六一、▷伊七一 (六日吳</p> <p>發—神戶)</p> <p>▷殿島 (六日横須賀發—東京及灣相模灘)</p> <p>▷伊二三、▷伊二四、▷掃六、▷掃五、▷掃三、▷掃一、▷掃四、</p> <p>▷掃二 (六日長浦發—東京灣及相模灘)</p> <p>▷敷波 (六日大阪發—吳)</p> <p>▷鳴戸 (六日富江發—作業地ヲ經テ博多)</p> <p>▷襟裳 (六日徳山發—飛波ノ瀬)</p>
--	---	--	---

(號外四頁、部内限二頁)

海軍公報 號外

昭和十一年四月六日(月)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一五二〇號

海軍給與令施行細則第四百十六條第一項ニ依リ購買スル糧食品代價ハ昭和十一年度間左ノ通定ム

昭和十一年三月三十一日

海 軍 大 臣

糧食品代價表

電報略語	品名	數量	區 別										
			北海道	小笠原島	沖繩諸島	上記以外ノ内地	臺灣	朝鮮	樺太	關東州	亞細亞(露領沿岸)	滿洲國	中華民國
イト	生 麵	一疋	三三〇	三五〇	三五〇	三〇〇	三六〇	三五〇	三五〇	三八〇	三八〇	三八〇	四〇〇
ニイ	白 砂 糖	同	四〇〇	四二〇	四〇〇	三九〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四一〇	四一〇	四一〇	四〇〇
ニロ	黃 雙	同	三三〇	三五〇	三五〇	三〇〇	三六〇	三五〇	三五〇	三八〇	三八〇	三八〇	四〇〇
ニホ	豆	同	三〇〇	三四〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇

海軍公報 號外

ツホ	レイ	タロ	ヨフ	ワイ	トイ	ヘハ	ホク	ホノ	ホネ	ホカ	ホチ	ホニ	ホハ	ニナ
麥粉	第二種漬物	第一種漬物	味噌	生野菜	骨付生魚肉	骨付生獸肉	凝脂	塩	植物油	酢	醬油	焙麥	茶	乾物
同	同	同	同	同	同	同	同	一匁	同	同	一立	同	同	同
三〇〇	三三〇	二二〇	三三〇	二〇〇	三八〇	七三〇	五三〇	〇七五	七〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	五〇〇	三三〇
三〇〇	四〇〇	一六〇	三三〇	二二〇	五〇〇	七三〇	五三〇	〇八〇	七〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	五〇〇	四〇〇
三〇〇	三六〇	二五〇	三三〇	二二〇	四五〇	七三〇	五三〇	〇八〇	七〇〇	三〇〇	三三〇	三三〇	四六〇	四〇〇
三〇〇	三〇〇	二二〇	三三〇	二〇〇	三六〇	七三〇	五三〇	〇七五	七〇〇	三〇〇	三三〇	三三〇	四九〇	三三〇
三〇〇	三六〇	二二〇	三三〇	二〇〇	五〇〇	七三〇	五三〇	〇八〇	七〇〇	三〇〇	三三〇	三三〇	四六〇	三三〇
三〇〇	三三〇	二二〇	三三〇	二〇〇	三三〇	七三〇	五三〇	〇七〇	六〇〇	二七〇	二五〇	三三〇	四六〇	三三〇
三〇〇	三三〇	二二〇	三三〇	二〇〇	三八〇	七三〇	五三〇	〇七五	七〇〇	三〇〇	三三〇	三三〇	五〇〇	三三〇
三〇〇	三三〇	二二〇	三三〇	二〇〇	四〇〇	五五〇	四〇〇	〇五〇	五五〇	二二〇	二八〇	三三〇	五三〇	二五〇
三〇〇	四〇〇	二六〇	三三〇	二四〇	三三〇	七三〇	五三〇	一〇〇	八〇〇	三〇〇	三三〇	三三〇	五〇〇	四〇〇
三〇〇	三〇〇	三〇〇	三三〇	三〇〇	五五〇	五五〇	五三〇	一一〇	五〇〇	三〇〇	三三〇	三三〇	五七五	三〇〇
三〇〇	三〇〇	二八〇	三三〇	二四〇	六五〇	六八〇	六三〇	一〇〇	八〇〇	一八〇	三三〇	三三〇	五〇〇	三〇〇

ツツ	火	酒	一	立	1100	1100	1100	1100	1100	1100	1100	1100	1100	1100	1100	1100	1100	1100	1100
<p>一、榮養品及汁ノ實用豆腐、油揚類竝ニ本表記載外ノ糧食品ハ時價ヲ以テ購買スルモノトス但シ交換品ハ其ノ規定品ノ所定代價以内トス</p> <p>二、本表記載以外ノ地ニ在リテハ時價ヲ以テ購買スルモノトス</p> <p>三、必要已ムヲ得ザル場合ニ限り本表代價ノ一割増以内ヲ以テ購買スルコトヲ得</p> <p>四、給糧艦ニ於テ補給用糧食品購入ニ際シ特ニ必要アル場合ニ限り本表代價ニ依ラズ時價ヲ以テ購買スルコトヲ得</p> <p>五、所屬長官ハ麾下艦船部隊、北海道、朝鮮、臺灣、關東州、樺太、滿洲國、中華民國及亞細亞露領沿岸ニ於テ必要已ムヲ得ザル場合ニ限り本表代價ノ一割五分増以内ヲ以テ購買セシムルコトヲ得</p> <p>六、一品目ノ下ニ數種アルモノハ購買ノ都度其ノ代價ヲ平均シ本表ノ代價以内ナレバ差支ナキモノトス</p> <p>七、時價又ハ割増購買ヲ爲シタルトキハ其ノ品名、數量、平均單價、代價、購入地及供給者氏名ヲ各月毎ニ本表ノ品種區別ニ依リ所屬軍需部ヲ經テ軍需局ニ報告スベシ</p>																			
<p>○ 通 牒</p>																			
<p>軍需糧第二六號</p> <p>海軍給與令施行細則第三百三十一條第三項ニ依ル糧食品單價ハ昭和十一年度同左ノ通定ハ</p> <p>昭和十一年三月三十一日</p> <p style="text-align: right;">海軍省軍需局長</p>																			

海軍公報 號外

一、艦船直接購買品及本表記載外ノモノハ其ノ購買單價ニヨル

ニロ	ニイ	ロソ	ロロ	イワ	イヌ	イリ	略電 語報	品名	單	價	略電 語報	品名	單	價	略電 語報	品名	單	價
黃 雙	白 砂糖	貯 藏魚肉	貯 藏獸肉	壓 搾麥	白 米	乾 砂糖 麩入												
同	同	同	同	同	同	同												
二九〇	三五〇	四七〇	四〇〇	一四〇	二一〇	二四〇												
ホネ	ホカ	ホチ	ホニ	ホハ	ニナ	ニホ	略電 語報	品名	單	價	略電 語報	品名	單	價	略電 語報	品名	單	價
植 物油	酢	醬 油	焙 麥	茶	乾 物	豆												
同	同	同	同	同	同	同												
四五〇	一三〇	一六〇	一八〇	三八〇	四一〇	一七〇												
ソソ	ソホ	レイ	タロ	ヨフ	ホク	ホノ	略電 語報	品名	單	價	略電 語報	品名	單	價	略電 語報	品名	單	價
火 酒	麥 粉	第 二種漬物	第 一種漬物	味 噌	凝 脂	塩												
同	同	同	同	同	同	同												
〇〇〇	一六〇	二二〇	〇七〇	一三〇	四七〇	〇七〇												

海軍公報 第二千七百二十七號

海軍大臣官房

昭和十二年四月七日(火)

○令 達

官房第一五三八號

大正六年官房第一一五一號別表中左ノ通改正ス

昭和十一年四月一日

海軍大臣

佐伯航空隊司令ノ項ノ次ニ左ノ各項ヲ加フ

舞鶴航空隊司令	六〇〇〇〇
木更津航空隊司令	六〇〇〇〇
鹿屋航空隊司令	六〇〇〇〇

(参照) 大正六年官房第一一五一號ハ司令長官以下ニ於テ要スル接待費定額ノ件ナリ

(會計法規類集上卷一四ノ五頁)

○通 牒

海人第三八號

昭和十一年四月七日

海軍省人事局長

關係各所轄長殿

服役延期者ノ善行章付與ニ關スル件申進
 服役延期中ノ徵兵ニシテ退團ノ際海軍下士官兵善行章令施行細則第二條第一項ニ定メラレタル三年ノ期間ニ滿タザル爲普通善行章ヲ付與セラルルニ至ラザル者ニ對シテハ同則第十三條ノ規定ニ依ル除算日數ヲ除キ二年十月ノ勤務日數ヲ有スル場合ハ同則第二條第二項ノ趣旨ニ依リ退團ノ際普通善行章一線ヲ付與スルコトヲ得ル義ト御承知相成度

○辭 令

溝田 圭一

海軍省軍務局ニ於ケル事務囑託ヲ解キ海軍省事務局ニ海軍經理學校ニ於ケル英語教授ヲ囑託ス

但シ報酬年額千四百圓ヲ贈與シ部内限奏任官待遇トス(請海軍省)

海軍主計少佐 堀 直江

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス

松山 三雄

海軍兵學校ニ於ケル教授ヲ囑託ス

但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

從五位勳五等 立花 親民

海軍省事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更

第七驅逐隊司令ハ本月四日司令驅逐艦ヲ潮ヨリ朧ニ變更セリ

○特務艦襟裳行動豫定

地名 着

四月 發

德 山 四月 四 日

四月 五 日

飛 渡 瀬	六 日	七 日	八 日
德 山	九 日	八 日	七 日
鹿 川	九 日	八 日	七 日
吳	九 日	八 日	七 日

退役海軍大佐從四位勳三等原篤慶一昨五日卒去、本七日午後二時滋賀縣大津市膳所別保町西念寺ニ於テ佛式ニ依リ葬儀執行

○艦船所在

△印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○四月七日午前十時調

【横須賀】

對馬△、金剛△、陸奥△、五十鈴、鳥海、高雄、摩耶、比叡、大鯨、神威△、愛宕、駒橋、

▷木曾

沖風、矢風、峯風、雷、△天霧、△隴、朝霧、澤風

△伊五、伊四、伊五六

富士△、尻矢、膠州、洲埼、知床

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】△沙風、島風、夕風、灘風、△漣、曉

呂五四、呂五五、呂五六、△呂五八、呂五七、呂五九

【石川島】

狹霧△

【横濱】

曙

【浦賀】

有明、夕暮、潮

【大湊】

△神風、沼風、野風、波風

【小樽】

大泊

【吳】

△最上、勝力、▷白鷹、龍驤、夕顔、△藤、薄、葛、敷波

呂五一△、呂五三△、呂三三、△伊二一、伊三二、伊五四△

△掃一六、掃一四、掃一五、掃一三、掃一七

掃九

石廊、攝津、朝日

(蒼龍)、(伊七)

加古△

白雲、△白雲

(村雨)、(鶴)

【神戸】

叢雲

△伊三、伊一、伊二

(伊七二)、(伊七三)、(呂三四)

【相生】

△薄雲

(沖島)

【玉】

吹雪

(掃一八)

【因島】△朝風、夕風△

【江田内】

平戸

【飛渡/瀬】

襟裳

吾妻△、多摩△

夕霧△、初雪△、響

伊五二

△千鳥、初雁、真鶴、友鶴

(春雨)、(鴻)

【佐世保】 龍田、名取△、由良、赤城△、霧島、常磐、

海軍公報 第二千七百二十七號 昭和十一年四月七日

三三一

八重山、北上市
 梨、竹、樺、桃、柳、櫻、檜、菖、菫、蓼、蓬、
 文月、三月、望月、子日、初春、區阜月、
 文月、長月、水無月、區睦月、卯月、
 彌生、如月
 呂三〇、呂三一、呂三二、區呂六〇、
 呂六一、呂六二、區呂六六、呂六七、
 呂六五、區伊六一、伊六二、伊六四、
 區伊六八
 敷島、早稻、佐多
 (白露)
 【寺島水道】長門、扶桑、標名、山城、川内、長良、
 神通、阿武隈、迅鯨、鳳翔、妙高、
 那智、羽黒、青葉、衣笠、古鷹、那珂、
 鬼怒、加賀
 松風、旗風、春風、區電、綾波、浦波、
 東雲、磯波、疾風、追風
 伊五五、伊五三、區伊五七、伊五八、
 伊六〇、伊五九、伊六三、伊六九、
 伊七〇、區伊六五、伊六六、伊六七、
 間宮、鶴見
 【長 崎】足柄、三艘
 若葉、初霜、夕月
 【鹿兒島】朝風
 【那 覇】能登呂
 【馬 公】羽風、帆風、秋風、太刀風
 【高雄港外】出雲、球磨、夕張
 若竹、吳竹、早苗、芙蓉、朝顔、刈萱

【旅 順】葵、菊、萩
 上海、鳥羽、春日
 浦風、栗、
 南京、安宅、比良
 九 江、蓮
 漢 口、梅
 長 沙、熱海
 宜 昌、保津
 重 慶、二見
 廣 東、嶺南
 廣 府、嶺南
 羅 府、嶺南
 航海中
 野島、磐手 (五日仁川發一大連)
 淀 (六日吳發一龍塘浦)
 堅田 (六日九江發一上海)
 長 嶺、區呂二八、呂二六、呂二七、區呂六八、
 呂六三、呂六四、伊五一、伊六、伊七一 (六日吳
 發一神戶)
 嚴島 (六日廣須賀發一東京灣及相模灘)
 伊二三、伊二四、區掃六、掃五、掃三、掃一、掃四、
 掃二 (六日長浦發一東京灣及相模灘)
 鳴 戸 (六日富江發一作業地ヲ經テ博多)
 室 戸 (六日佐世保發一橫須賀)
 大 井 (七日吳發一江田内ヲ經テ小部灣)
 勢 多 (七日漢口發一沙市)
 檜 柿、葦 (七日麗水發一鎮海)

(附錄五百、部内限四頁)

舞鶴 海軍無線電信所	舞鶴 海軍建築部	舞鶴 防備隊	海軍機關學校	同 火藥廠爆藥部	舞鶴 航空隊	海軍 燃料廠	同 探炭部	同 平壤鐵業部	廣 海軍工廠	海軍 火藥廠	橫濱 海軍航空隊	木更津 同	霞ヶ浦 同	館山 同
四六〇	五四〇	四九七〇	一三九〇	四三〇	五八〇	五二〇	二五九〇	三三七〇	一五七〇	七三三〇	四二〇	八三〇	三二四〇	一四〇八〇
大村 同	大湊 同	佐伯 同	鹿屋 同	海軍 兵學校	湊 海軍病院	別府 同	鎮海 要港部	同 防備隊	馬公 要港部	同 防備隊	大湊 要港部	同 防備隊	同 海軍無線電信所	旅順 要港部
八七五〇	三六七〇	五九六〇	六三三〇	一八四五〇	一八四三〇	一〇八〇	四九〇	五四九〇	五五八〇	五三三〇	四三九〇	四三四〇	三二〇〇	四六〇
同 海軍無線電信所	宗谷 同	鳳山 同	父島 同	上海 海軍特別陸戰隊	上海 駐在武官	漢口 殘留隊	太田 海軍監督官事務所	神戶 同	大阪 同	名古屋 同	長崎 同	八幡 同	室蘭 同	浦賀 同
四六三〇	四三六〇	一〇五三〇	五六九〇	七七八〇	二四二三〇	一七七六〇	二七七〇	一五七〇	六六八〇	一三二七〇	一六四〇	六四三〇	四三〇	六六〇
福岡 同	玉 同	廣島 同	徳山 軍需支部	東京 高等商船學校 角田 光揚	第二 潜水戰隊	南洋 勸業武官	在英 海軍監督官事務所	在緬 育同	在柳 原博光	在獨 立監督官事務所	海軍 北武官	第六 戰隊司令部	軍艦 金剛	同 比叡
五三六〇	四三〇	四〇〇	三九二〇	一三〇〇	二二〇〇	四〇〇	六五八〇	一〇一五〇	三三〇	二〇〇〇	一三〇〇	二二七〇	六六六〇	四七二〇

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
高 雄	羽 黒	足 柄	那 智	青 葉	古 鷹	加 古	陸 奥	長 門	日 向	伊 勢	山 城	扶 桑	榛 名	霧 島
六四三〇	五六六〇	五三三〇	八九四〇	五三四〇	七四九七〇	三三六〇	七五〇〇	八四三九〇	四五〇六〇	九五六〇	六九七〇	一三六六〇	一三六六〇	六五六〇
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
阿 武 隈	第 二 潜 水 戦 隊 第 七 潜 水 隊 第 八 潜 水 隊	鬼 怒	五 十 鈴	長 良	木 曾	大 井	北 上	多 摩	球 磨	天 龍	摩 耶	鳥 海	愛 宕	
六〇六〇	九八五〇	五七一〇	五七五〇	四四七〇	六三三〇	四六六〇	九六八〇	三三二〇	四八〇〇	一六五四〇	五〇八〇	五七五〇	五七五〇	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
出 雲	八 雲	八 重 山	白 鷹	勝 力	常 磐	長 鯨	迅 鯨	駒 橋	韓 崎	龍 驤	赤 城	加 賀	神 通	那 珂
五〇九五〇	四六六〇	三三四〇	二〇八五〇	三三二〇	五三三〇	四一五〇	四三三〇	一九八七〇	四九七〇	八七九〇	七三三〇	一六七七〇	六五六〇	六五六〇
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三 隈	最 上	大 鯨	鳥 羽	神 威	能 登 呂	二 見	保 津	比 良	嵯 峨	宇 治	安 宅	對 馬	春 日	磐 手
九八二〇	五三〇〇	五〇八四〇	五二二〇	四九四三〇	三三〇〇	七五五〇	九九三〇	二一八四〇	一三六六〇	七五三〇	一六六六〇	一六〇四〇	四六一三〇	四六六七〇

海軍公報 第二千七百二十八號

昭和十一年四月八日(水)
海軍大臣官房

○通牒

官房第一六四七號ノ二

昭和十一年四月八日

海軍省副官

在京各廳長殿

觀櫻會ニ關スル件申進

首題ニ關シ式部長官ヨリ左記ノ通り通牒有之候條御承
知相成度

記

式部送第五四〇號

昭和十一年四月四日

式部長官子爵松平 慶民

海軍大臣 永野修身殿

本年觀櫻會ハ御都合ニ依リ御催不被爲在候條及御通知
候

○辭令

○昭和十一年四月八日

任海軍書記

中山 久夫

給月俸六拾圓

故海軍一等水兵井伊太三郎父 井伊 佐吉

昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金六百圓ヲ給與ス

(正五位海軍省)

正五位勳四等 高木 真一

海軍經理學校ニ於ケル食品化學教授ヲ囑託ス

但シ報酬年額五百四拾圓ヲ贈與シ部内限勅任官待

遇トス(請同)

海軍法務官 潮見 茂樹

高等軍法會議檢察官ヲ命ス

同 尾畑 義純

東京軍法會議檢察官ヲ命ス

同 山田 三郎

海軍法務官試補實務修習試驗委員長ヲ免ス

海軍公報 第二千七百二十八號 昭和十一年四月八日

三三三

海軍法務官試補實務修習試驗委員長ヲ命ス 潮見 茂樹

(各通) 同 尾畑 義純

海軍法務官試補實務修習試驗委員ヲ命ス 楠田 直方

同 梅田 直方

海軍軍事普及部委員ヲ命ス

海軍火藥廠附ヲ命ス 海軍書記 中山 久夫

海軍特務大尉 久保 健作

佐世保海軍工廠總務部ニ於ケル事務ヲ囑託シ報酬年額七百八拾圓ヲ給ス

海軍經理學校ニ於ケル國際經濟教授囑託

津島 壽一

自今部内限勅任官待遇トス(以上同)

測量實施囑託 矢崎 忠藏

自今報酬月額六拾圓ヲ給ス

第二課勤務ヲ命ス 海軍技手 黒川 健一

同 岡田 進

第三課勤務ヲ命ス(以上謂水路部)

○ 款 雜

○郵便物閉塞交換開始 昭和十二年四月八日 海軍省副官

○軍艦勝利行動豫定

地名 着 發

吳島 四月十日 四月十日

馬公 四月十六日 四月十八日

馬地 五月十一日 五月十二日

馬公 五月十三日 五月十五日

馬公 六月八日 六月九日

馬公 六月十日 六月十二日

馬公 七月六日 七月七日

馬公 七月八日 七月十日

馬公 八月三日 八月四日

馬公 八月五日 八月七日

馬公 八月三十一日 八月三十一日

馬公 九月二日 九月五日

馬公 九月二十七日 九月三十日

吳島 十月五日

○特務艦洲崎行動豫定 地名 着 發 五月四日

<p>○郵便物發送先 軍艦勝利宛 四月九日迄ニ到達見込ノモノハ 九月四日迄ニ同 同二十九日迄ニ同 其ノ後ハ 軍艦嵯峨宛 四月十六日迄ニ到達見込ノモノハ 五月二十一日迄ニ同 其ノ後ハ 特務艦洲崎宛 五月三日迄ニ到達見込ノモノハ 同十日迄ニ同 同十五日迄ニ同 同二十日迄ニ同 其ノ後ハ</p>	<p>門司郵便局氣付(軍艦郵便) 馬公 門司郵便局氣付(軍艦郵便)</p>	<p>吳高馬吳 公雄</p>	<p>德山 五月七日 廣山 八月八日 德山 十月十日 廣山 十一月十一日 大須賀 十二月十六日 横須賀 十二月二十四日</p>
--	---	--------------------	---

海軍公報 第二千七百二十八號 昭和十一年四月八日

三三五

○着任、退應
新任 海軍艦隊本部 海軍大佐 大西瀧治郎 四月六日着任
前任 海軍少將 佐藤市郎 同日退應
豫備役海軍大佐正五位勳三等野原伸治昨七日卒去、
明後十日東京市板橋區中村町三ノ六一九自宅ニ於
テ神式ニ依リ葬儀、同二時ヨリ三時迄告別式執行

○艦船所在

指印△印△ハ△出△セ△

○四月八日午前十時調

【横須賀】

對馬△、金剛△、陸奥△、五十鈴、烏海、高雄、摩耶、比叡、大鯨、神威△、愛宕、駒橋、

▷木曾

沖風、矢風、峯風、雷、▽天霧、朝霧、

▽龍、澤風

▽伊五、伊四、伊五六

富士△、尻矢、膠州、洲埼、知床

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】

▽沙風、島風、夕風、灘風、▽漣、曉、呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五八、呂五七、呂五九

▽狹霧△

【石川島】

(鴨)

【横濱】

▽曙

【浦賀】

▽有明、夕暮、潮

【大湊】

(時雨)、(五月雨)、(山風) 神風、沼風、野風、波風

【小樽】

▽大泊、矢矧、障崎、日向△、淺間、伊勢、天龍、

▷最上、勝力、▷白鷹、龍巖、夕顔、▽藤、薄、菫、敷波

呂五一△、呂五三△、呂三三、▽伊二一、伊二三、伊五四△

▽掃一六、掃一四、掃一五、掃一三、掃一七

掃九

石廊、攝津、朝日

(蒼龍)、(伊七)

【大阪】

加古△、白雲、▽白雲

(村雨)、(鶴)

【神戸】

叢雲

▽伊三、伊一、伊二、(伊七二)、(伊七三)、(呂三四)

【相生】

▽濃雲

【玉】

吹雪

【因島】

(掃一八) 朝風△、夕風△

【江田内】

平戸

【小部灣】

大井、吾妻△、多摩△

【舞鶴】

夕霧△、初雪△、響

【佐世保】

▽千鳥、初雁、真鶴、友鶴△、(春雨)、(鴻) 龍田、名取△、由良、赤城△、霧島、▷北上、梨、竹、樞、桃、柳、櫻、檜、菱、菫、蓬、

海軍公報 第二千七百二十八號

昭和十一年四月八日

三三七

<p>【博多】 鳴戸</p> <p>【寺島水道】 長門、扶桑、△榛名、山城、△川内、長良、神通、△阿武隈、△迅鯨、△鳳翔、△妙高、那智、羽黒、△青葉、衣笠、古鷹、△那珂、△鬼怒、△加賀</p> <p>△松風、旗風、春風、△電、△綾波、浦波、△東雲、磯波、△疾風、追風</p> <p>△伊五五、伊五三、伊五八、伊五九、伊六九、伊七〇、△伊六六、伊六五、伊六七</p> <p>同宮</p>	<p>【長崎】 足柄△、三隈</p> <p>△若葉、初霜、夕月△</p>	<p>【鹿兒島灣】 朝風</p> <p>【那覇】 能登呂</p> <p>【馬公】 羽風、帆風、秋風、太刀風</p> <p>△出雲、球磨、△夕張</p> <p>△若竹、吳竹、早苗、△芙蓉、朝顔、刈萱</p> <p>【高雄港外】 △檜、△楡、△柿、△萩</p> <p>△葵、△菊、△萩</p> <p>【旅順】 △八雲、磐手</p>	<p>【上海】 鳥羽、栗浦風、比良</p> <p>【南京】 蓮</p> <p>【九江】 梅</p> <p>【漢口】 熱海</p> <p>【長沙】 保津</p> <p>【宜昌】 二見</p> <p>【重慶】 隱</p> <p>【廣東】 饑</p> <p>【廣府】 饑</p> <p>【羅府】 饑</p> <p>【航海中】 隱</p> <p>淀 (六日吳發—旅順へ)</p> <p>堅田 (六日九江發—上海へ)</p> <p>長鯨、△呂二八、△呂二六、△呂二七、△呂六八、△呂六三、△呂六四、伊五一、伊六、伊七一 (六日吳發—神戶へ)</p> <p>△嚴島 (六日横須賀發—東京灣及相模灘へ)</p> <p>△伊二三、△伊二四、△掃六、△掃五、△掃三、△掃一、△掃四、△掃二 (六日長浦發—東京灣及相模灘へ)</p> <p>室戸 (六日佐世保發—横須賀へ)</p> <p>勢多 (七日漢口發—沙市へ)</p> <p>春日 (七日上海發—佐世保へ)</p> <p>野島 (七日龍塘沖發—旅順へ)</p> <p>襟裳 (七日飛渡ノ瀬發—徳山へ)</p> <p>常磐 (八日佐世保發—長崎へ)</p> <p>△八重山、△早月、△文月 (八日佐世保發)</p> <p>△安宅 (八日南京發—漢口へ)</p> <p>鶴見 (八日寺島水道發—佐世保へ)</p>
--	--------------------------------------	---	--

(部内限四頁)

海軍公報

第二千七百二十九號

昭和十一年四月九日(木)

海軍大臣官房

○ 辭令

陸軍歩兵中尉 西村 省三
海軍航空廠ニ於ケル青年訓練所指導囑託ヲ解ク(海軍省)

海軍航空廠ニ於ケル航空實驗心理學及適性検査關係業務囑託 望月 衛
兼テ霞ヶ浦海軍航空隊並ニ横須賀海軍航空隊ニ於ケル適性検査關係業務ヲ囑託ス(海軍省)

○ 款 雜

○海軍義濟會、海軍信義會並ニ及後會會長ハ左記ノ通交代アリタリ

記
舊會長 海軍大將 山本 英輔 三月三日退任
新會長 同 男爵 大角 岑生 同日就任

○着任、退廳

新任 東京軍法會議 海軍法務官 尾畑 義純 四月六日着任
前任 同 潮見 茂樹 同日退廳

○改姓
海軍中尉 熊谷 保ハ横山ト改姓ノ旨一昨七日届出テタリ

海軍公報 第二千七百二十九號 昭和十一年四月九日

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○四月九日午前十時調

【横須賀】

對馬、金剛、陸奥、五十鈴、島海、高雄、
摩耶、比叡、大鯨、神威、愛宕、駒橋、木曾
沖風、矢風、峯風、雷、隴、澤風

伊五、伊四、伊五六

富士、尻矢、洲崎、知床

(鈴谷)、(劍崎)

【長浦】沙風、島風、夕風、灘風、隴、曉

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、
呂五七、呂五九

【石川島】

狹霧

(鴨)

【横濱】

(集)

【浦賀】有明、夕暮、潮

(時雨)、(五月雨)、(山風)

【大湊】神風、沼風、野風、波風

【吳】矢矧、韓崎、日向、淺間、伊勢、天龍、
最上、勝力、白鷺、龍驤

夕顔、藤、薄、葛、敷波

呂五一、呂五三、伊二一、伊二三、
伊五四

掃一六、掃一四、掃一五、掃一三、掃一七

掃九

【大阪】

石廊、攝津、朝日
(蒼龍)、(伊七)
加古、白雲、白雪
(村雨)、(鶴)

【神戸】

長鯨、叢雲
伊三、伊一、伊二、呂二八、呂二六、
呂二七、呂六八、呂六三、呂六四、
伊五一、伊六、伊七一、呂三三、
(伊七二)、(伊七三)、(呂三四)

【相生】

薄雲
(沖島)

【玉】

吹雪
(掃一八)

【因島】

朝風、夕風

【江田内】

平戸、大井、吾妻、多摩、
夕霧、初雪、響

【小豆島】

伊五二、千鳥、初雁、真鶴、友鶴、
(春雨)、(鴻)

【佐世保】

龍田、名取、由良、赤城、霧島、北上
川内、梨、竹、樺、桃、柳、檜、檜、菱、董、蓼、蓬、
三日月、三日月、望月、子日、初春、鼠月、

文月、長月、水無月、陸月、卯月、彌生、如月
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六五、呂六六、呂六七、伊六一、伊六二、伊六四、伊六〇、伊六三、伊五七、敷島、早朝、佐多、鶴見
 (白露)
 博多、鳴戸
 寺島水道、長門、扶桑、榛名、山城、長良、神通、阿武隈、迅鯨、鳳翔、妙高、那智、羽黑、青葉、衣笠、古鷹、那珂、鬼怒、加賀
 松風、旗風、春風、電、綾波、浦波、東雲、磯波、疾風、追風
 伊五五、伊五三、伊五八、伊五九、伊六八、伊六九、伊七〇、伊六六、伊六五、伊六七
 間宮
 古江、八重山
 長崎、足柄、三隈
 若葉、初霜、夕月
 鹿兒島、朝風
 馬公、羽風、帆風、秋風、太刀風
 高雄港外、出雲、球磨、夕張
 若竹、吳竹、早苗、芙蓉、朝顔、刈萱
 鎮海、檜、柿、葦
 旅順、葵、菊、萩

大連、野島、磐手
 上海、八雲、鳥羽、浦風、栗
 南京、比良
 漢口、母連、熱海
 長沙、津
 宜昌、保津
 重慶、二見
 廣東、峴峨
 航海中
 淀、(六日吳發—旅順へ)
 壱田、(六日九江發—上海へ)
 駿島、(六日横須賀發—東京灣及相模灘へ)
 掃六、掃五、掃三、掃一、掃四、掃二、(六日長浦發—東京灣及相模灘へ)
 室戸、(六日佐世保發—横須賀へ)
 隱戸、(六日維府發—廣へ)
 勢多、(七日漢口發—沙市へ)
 春日、(七日上海發—佐世保へ)
 安宅、(八日南京發—漢口へ)
 能登呂、(八日那覇發—喜界島へ)
 常磐、(八日長崎發—古江へ)
 天霧、朝霧、(八日横須賀發—博多へ)
 伊二三、伊二四、(九日長浦發—東京灣へ)
 大泊、(九日小樽發—壽都へ)
 襟裳、(九日徳山發—鹿ノ川へ)
 膠州、(九日横須賀發—鳥羽へ)

(部別三頁、同別紙二葉)

海軍公報 第二千七百三十號

昭和十一年四月十日(金)
海軍大臣官房

○辭令

海軍經理學校ニ於ケル憲法及行政法教授囑託
自今部内限勅任官待遇トス(留海軍省)
守屋 榮夫

○款雜

○司令潜水艦變更
第十九潜水隊司令ハ 自四月 七日 田司令潜水艦ヲ伊號第
五十七潜水艦ヨリ伊號第五十八潜水艦ニ變更セリ

○伊號第五十二潜水艦行動豫定

地名	着	發
舞鶴		四月十三日
富山	四月十四日	十八日
舞鶴	十九日	

○郵便物發送先
伊號第五十二潜水艦宛

四月十二日迄ニ到達見込ノモノハ
同十七日迄ニ 同
共ノ後ハ
舞富山 鶴

○事務引繼
在亞爾然丁資金前渡官吏二月十日事務引繼ヲ完了セリ
前任 資金前渡官吏 海軍大佐 伊藤 賢三
後任 同 海軍中佐 花田 行武

○正誤 (齊)
一昨八日辭令欄「東京軍法會議」ハ「東京軍法會議」
ノ、同三四頁六行目「同」ハ「海軍司法事務官」ノ
孰モ誤

海軍公報 第二千七百三十號 昭和十一年四月十日

○艦船所在

▲印ハハカシノ
指定ヲ要セズ

○四月十日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、金剛▲、陸奥▲、五十鈴、鳥海、高雄、摩耶、比叡、大鯨、神威▲、愛宕、駒橋、

▷木曾、▷巖島

沖風、矢風、峯風、区隼、澤風、雷

区伊五、伊四、伊五六

富士▲、尻矢、洲崎、知床、室戸

(鈴谷)、(劍崎)

【長浦】区沙風、島風、夕風、灘風、区漣、曉

呂五四、呂五五、呂五六、区呂五八、呂五七、呂五九、区伊二三、伊二四

区掃六、掃五、掃三、掃一、掃四、掃二

【石川島】狭霧▲

(鴨)

【横濱】曙

(串)

【浦賀】区有明、夕暮、潮

(時雨)、(五月雨)、(山風)

【大湊】区神風、沼風、野風、波風

【江差】大泊

【吳】矢矧、摩崎、日向▲、淺間、伊勢、天龍、

▷最上、勝力、▷白鷹、龍驤

夕顔、区藤、薄、葛

呂五一▲、呂五三▲、区伊二一、伊二三、

伊五四▲

区掃一六、掃一四、掃一五、掃一三、掃一七

掃九

石廊、攝津、朝日

(蒼龍)、(伊七)

吹雪

加古▲

白雲、区白雪

(村雨)、(鶴)

【神戸】長鯨

叢雲

区伊三、伊一、伊二、区呂二八、呂二六、呂二七、区呂六八、呂六三、呂六四、

伊五一、伊六、伊七一、呂三三、

(伊七二)、(伊七三)、(呂三四)

【相生】区海雲

(沖島)

【玉】(掃一八)

【因島】区朝風、夕風▲

【江田内】平戸

【鹿ノ川】襟裳

吾妻▲、多摩▲

夕霧▲、初雪▲

伊五二

区千鳥、初雁、真鶴、友鶴▲

(春雨)、(鴻)

【佐世保】龍田、名取▲、由良、赤城▲、霧島、▷北上

海軍公報 第二千七百三十號 昭和十一年四月十日

三四五

海軍公報 第二千七百三十號

昭和十一年四月十一日(土)
海軍大臣官房

○辭令

海軍主計少佐 堀 直江
(各通) 同 塩見 秀次郎

海軍生徒採用試験常置委員ヲ免ス

同 初見 盈五郎
(各通) 同 伏下 哲夫

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス(以上皆海軍省)

朝鮮總督府技師 國富 信一
水路部ニ於ケル磁氣觀測事務ヲ囑託ス(十四日同)

○雜款

○司令驅逐艦變更
第二十三驅逐隊司令ハ一昨九日司令驅逐艦ヲ菊月ヨリ
望月ニ變更セリ

○電話架設
衆議院海軍政府委員室
銀座 一一〇四番

海軍公報 第二千七百三十一號 昭和十一年四月十一日

○艦船所在

△印ハ「ハ」
指定ヲ要セズ

○四月十一日午前十時調

【横須賀】

對馬△、金剛△、陸奥△、五十鈴、鳥海、高雄、
摩耶、比叡、大鯨、神威△、愛宕、駒橋、
▽木曾、▽磯島

▽沖風、矢風、峯風、▽隴、澤風、雷

▽伊五、伊四、伊五六

富士△、尻矢、洲崎、知床、室戸

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】▽沙風、島風、夕風、灘風、▽漣、曉

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五八、
呂五七、呂五九、▽伊二三、伊二四

▽掃六、掃五、掃三、掃一、掃四、掃二

【石川島】 狹霧△

(鵜)

【横濱】

曙

(隼)

【浦賀】▽有明、夕暮、潮

(時雨)、(五月雨)、(山風)

【大湊】▽神風、沼風、野風、波風

大泊

【吳】 矢矧、摩崎、日向△、淺間、伊勢、天龍、

▽最上、▽白鷹、龍驤

夕顔、▽藤、薄、葛
呂五一△、呂五三△、▽伊二一、伊二三、

伊五四△
▽掃一六、掃一四、掃一五、掃一三、掃一七

掃九
石廊、攝津、朝日、襟裳

(蒼龍)、(伊七)

吹雪

加古△

白雲、▽白雲

(村雨)、(鵲)

長鯨、大井

叢雲

▽伊三、伊一、伊二、▽呂二八、呂二六、
呂二七、▽呂六八、呂六三、呂六四、
呂三三、伊七一、伊五一、伊六

(伊七二)、(伊七三)、(呂三四)

相生

(薄雲)

(沖島)

【玉】 (掃一八)

【因島】▽朝風△、夕風△

【江田内】 平戸

吾妻△、多摩△

夕霧△、初雪△

伊五二

▽千鳥、初雁、真鶴、友鶴△

(春雨)、(鴻)

龍田、名取△、由良、赤城△、霧島、▽北上、

常磐、八重山、▽長門、扶桑、▽榛名、

海軍公報 第二千七百三十一號 昭和十一年四月十一日

三四九

山城、▷川内、長良、神通、▷阿武隈、
▷迅鯨、▷鳳翔、春日
梨、竹、榎、桃、柳、櫻、檜、菱、蓮、蓬、
▷菊月、三日月、望月、子日、初春、▷阜月、
文月、長月、水無月、▷陸月、卯月、
彌生、如月、▷松風、旗風、春風、朝風、
▷呂三〇、▷呂三一、▷呂三二、▷呂六〇、
▷呂六一、▷呂六二、▷呂六五、▷呂六六、
▷呂六七、▷伊六一、▷伊六二、▷伊六四、
▷伊五五、▷伊五三、▷伊五七、▷伊五八、
▷伊六〇、▷伊五九、▷伊六三、
敷島、早柄、佐多、鶴見、間宮
(白露)

【福岡灣】▷妙高、▷那智、▷羽黒、▷青葉、衣笠、古鷹、
▷那珂、▷鬼怒、▷加賀
▷電、▷響、▷天霧、朝霧、▷綾波、浦波、
敷波、▷東雲、磯波、▷疾風、追風
▷伊六八、▷伊六九、▷伊七〇、▷伊六六、
▷伊六五、▷伊六七
鳴戸

【長崎】足柄、三隈
▷若葉、初霜、夕月、
▷羽風、帆風、秋風、太刀風
▷出雲、球磨、▷夕張
▷若竹、吳竹、早苗、▷芙蓉、朝顔、刈萱

【鎮海】▷榎、梯、葦

【旅順】淀
▷葵、菊、萩
▷野島
▷八雲、磐手
▷鳥羽、堅田
▷栗

【上海】▷浦風
▷安宅
▷熱海
▷保津、勢多
▷二見
▷蟻峨

【漢口】▷安宅
▷熱海
▷保津、勢多
▷二見
▷蟻峨

【長沙】▷熱海
▷保津、勢多
▷二見
▷蟻峨

【宜昌】▷熱海
▷保津、勢多
▷二見
▷蟻峨

【重慶】▷熱海
▷保津、勢多
▷二見
▷蟻峨

【廣東】▷熱海
▷保津、勢多
▷二見
▷蟻峨

【航海中】
▷隱戸 (六日羅府發—廣)
▷能登呂 (九日喜界島發—佐世保)
▷膠州 (九日橫須賀發—鳥羽)
▷勝力 (十日宮島發—馬公)
▷比良 (十一日南京發—漢口)

(部内限三頁)